

会議録

会議の名称	西東京市立中原小学校及び西東京市立ひばりが丘中学校建替準備検討協議会（第1回会議）
開催日時	平成24年5月25日（金曜日） 午後2時05分から午後3時49分まで
開催場所	西東京市立ひばりが丘中学校 1階 視聴覚室
出席者	委員：前島京、杉原明子、一井靖子、吉村美穂子、浜口ひろみ、門馬 晶子、河野美晴、岩崎正敏、池田めぐみ、飯野露子、内田真弓、佐藤裕子、白政幸子、近藤雅代、フィスク恵美子、神山繁樹、野澤幸美、櫻井 勉 事務局：池澤隆史（教育長職務代理者教育部長）、坂本眞実（教育企画課長）、早川礼成（教育企画課長補佐（企画調整係））、坂本義隆（教育企画課企画調整係主任）、中村幸雄（教育企画課学務係長）、名古屋勇（学校運営課施設係主査）
傍聴者	4人
議題	1 開会 2 教育長職務代理者あいさつ 3 委員の依頼及び任命 4 自己紹介 5 会長の指名（副会長の指名） 6 資料説明（これまでの学校施設適正規模・適正配置の検討状況等について） 7 意見・質問 8 次回の開催日程について 9 閉会
会議資料の名称	資料1 西東京市立中原小学校及び西東京市立ひばりが丘中学校建替準備検討協議会設置要綱 資料2 西東京市立中原小学校及び西東京市立ひばりが丘中学校建替準備検討協議会傍聴要領 資料3 西東京市立中原小学校及び西東京市立ひばりが丘中学校建替準備検討協議会委員名簿 資料4 公共施設の適正配置等に関する基本計画（学校部分抜粋） 資料5 学校施設適正規模・適正配置庁内検討委員会平成23年度における検討結果最終報告書 資料6 中原小学校・ひばりが丘中学校施設概要 資料7 西東京市立中原小学校及び西東京市立ひばりが丘中学校建替準備検討協議会開催スケジュール（案） ※参考資料として「小学校通学区域（地図）」・「中学校通学区域（地図）」・「西東京の教育5月15日号（広報紙写し）」
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会議内容

議題1 開会

議題2 教育長職務代理者あいさつ

池澤教育長職務代理者：

本日から建替えに向けた本格的な議論を進めていただくことになるが、それぞれのご専門の立場から率直なご意見をいただき、より良い学校を作っていきたいと思っている。平成23年度から、市の関係各課長で構成される学校施設適正規模・適正配置庁内検討委員会という組織を立ち上げ、建替えに向けた方向性をまとめたところである。この後担当より説明をさせていただく「学校施設適正規模・適正配置庁内検討委員会平成23年度における検討結果最終報告書（以下「最終報告書」という。）」は、教育委員会として最終決定したものではなく、市として最終的に意思決定したものでもないため、これから最終報告書を基に、建替準備検討協議会でご異論いただきながら、結論付けを行っていききたいと思う。そして、その結論を基に教育委員会に報告し、最終的には市としての最終決定をしていききたいと思う。お忙しい中、2年間の会議となるが、委員の皆様には、老朽化した学校施設の建替えだけではなく、市域全体の学校をどう配置していくかといった、学校の適正配置の視点からもご議論いただきたい。よろしく願いしたい。

議題3 委員の依頼及び任命

池澤教育長職務代理者から各委員に依頼状（学校長以外）及び任命状（学校長）を交付。

議題4 自己紹介

各委員及び事務局から自己紹介

議題5 会長・副会長の指名

「西東京市立中原小学校及び西東京市立ひばりが丘中学校建替準備検討協議会設置要綱」に基づき、池澤教育長職務代理者から神山委員（中原小学校長）を会長に指名。その後、神山会長から内田委員（民生・児童委員）を副会長に指名。

議題6 資料説明（事務局から）

資料1から資料7まで及び参考資料について説明。

議題7 意見・質問

○会長：

事務局から資料説明があったが、ご質問・ご意見のある方は発言願いたい。

委員：

何を議題にして、何を話し合っていけば良いのか、趣旨がわからない。

事務局：

資料1の第2にあるとおり、(1) 両校の建替えに関する事、(2) 建替えに伴う検討

事項の整理に関すること、(3) その他、教育長が必要と認めることである。出てきた課題をどうクリアするのか、平成26年度からの建替協議会で検討しなければならない課題は何なのかを抽出するのがこの組織である。次の建替協議会で検討しなければならない材料集めをする、と考えていただければ良い。

会長：

建替えを実行するためにどのようなことを考え、検討していくか、見出しを作っていくための準備検討会である。見出しに対して答えや要望が出てきた後、最終的には平成26年からの建替協議会で練っていく流れになる。

○委員：

URの土地は、現時点で確実に取得できるのか。また、現時点で確実にない場合には、いつ頃までに分かるのか。それがないと、このプラン自体が動かないのではないのか。

事務局：

URの土地を購入するのは、現段階では案であり、決定事項ではない。庁内検討委員会としては、URの土地を活用した建替えが相応しいのではないかと、ということで今回提案をさせていただいている。委員の皆さんからの意見を伺い、この方向で合意いただければ、正式に市としてURに交渉の申し入れをしたいと考えている。

会長：

資料5の6ページに想定パターンが1から4まで考えてあり、4つの想定パターンの中から、こういうメリット・デメリットがあるから、最終的には9ページのURの土地を活用する案を提案します、との話だった。これらを協議していき、この方向でとの最終結論を出してからURの土地を買うというように話が進むことになる。

委員：

案として提案されているものをこの協議会で話し合うということで受け取って良いか。

事務局：

今回のこのプランは、あくまでも提案なので、委員の皆さんからこのプランについてご意見をいただき、最終的なご了解・ご承認をいただきたいと考えている。

委員：

ひばりが丘中学校が「(仮称)第10中学校」と記載されているが、これも決まったことではないと理解して良いか。どのような根拠で「(仮称)第10中学校」としたのか。

事務局：

今現在、市立中学校が9校あり、URの土地を活用するプランの場合、そのままひばりが丘中学校と表記すると、どちらを指しているのか誤解を招くことを想定して、あくまでも新規の土地に建てる中学校という事でご理解いただければと思う。特に現状では名称については議論していないので、これから皆さんにご意見を聞きながら決めていくこ

とになる。逆を言うと皆さんの総意が、ひばりが丘中学校のままでよろしいということであれば、その形になると思う。

委員：

資料の中で、市内平均として人数や広さなどが書かれているが、建替えが9年後だとすると、それまでの児童・生徒数の変化などは、どのように見込んでいるのか。

事務局：

資料5最終報告書の14ページに中原小学校とひばりが丘中学校の今後の児童数・生徒数や学級数の見込みを掲載している。これによると、中原小学校については、平成26年度に児童数が822人となっており、それまでは少し増えていくが、その後は減少していくと予測している。ひばりが丘中学校については、平成29年度に683人でピークを迎え、その後は減少していくと予測している。

委員：

URの購入予定地の面積はどの位を想定しているのか。

事務局：

資料5最終報告書の15ページにある工程表（案）の平成28年度欄に記載しているが、現在のひばりが丘中学校の敷地面積と同等の約19,000平方メートルと考えている。

委員：

用地取得を予定しているのは、どの辺りか目星は付いているのか。

事務局：

現状ではURの土地の中ということで、まだ明確に場所の指定はない。今後市としてもある程度要望を出しながら、UR側でも全体の中での土地利用の構想を持っているようなので、これからの交渉の中で決まっていくことになる。

委員：

建築年から60年になる平成31・32年を目途に事業完了を目指していくとあるが、事務的なこととかでその位かかってしまうのか、それとももう少し前倒しは出来ないのかをお聞きしたい。

事務局：

資料5最終報告書の15ページをご覧ください。この中でも記載しているとおり、全体の事業を実施するに当たり、概算ではあるが100億円以上の事業費がかかると見込んでいる。これだけ大規模な事業になると、市の最上位計画である総合計画にしっかりと位置付けて、事業に取り組んでいくことになる。そして、この総合計画が平成26年度から第2次総合計画が始まることもあり、この第2次総合計画の中に中原小学校とひばりが丘中学校の建替事業を位置付けていきたいと考えているので、この計画期間中に対応していくことを考えると、スケジュール的には平成31・32年の事業完了を目途に取り組んでいくことになる。

委員：

現段階でということであれば、変更される可能性もゼロではないということか。

事務局：

あくまでも庁内検討委員会の一つの案なので、この建替準備検討協議会の中でもご議論いただくとともに、今後URの用地を活用するということであれば、URとの協議も当然入って来るので、URの事情も汲みながら、この建替準備検討協議会の中での議論を踏まえたスケジュールを作成していきたいと考えている。

委員：

中原小学校とひばりが丘中学校の人数について、小学校の方が多いうのだが、面積が大きな方を中学校が使っているのは何か理由があるのか。中原小学校は児童数が多いため、折角新しく建て替えても、また狭いという問題があるのではないか。購入予定のURの土地は広いので、ひばりが丘中学校の方は余裕がある感じでどうかと思う。

事務局：

学校規模の問題については、小学校と中学校で教科の内容等も違って来るほか、中学校には専科があり、専科ごとに教室を持っているというような状況もあり、学校規模としては、比較的中学校の方が大きくなっている。なお、中原小学校については、学級数は将来的にも24学級と予測しているが、建替えの際に施設を有効利用するという視点から、例えばプール・体育館を一体的に建て替えることによって、校地面積をより有効に活用するなどの視点も出てくると思う。現在の校庭が狭いとか、そういったご指摘もいただければ、それらのご指摘を基に施設をどう建て替えていくのかといった議論に入っていけると思うので、より実態に則したご意見をいただきたい。

会長：

貴重な意見を皆さんに出していただくことで、一つずつ検討事項が見えて来るので、是非こういった感じでたくさんの意見を出していただきたい。

委員：

資料5最終報告書の14ページにある児童・生徒数の将来推計では、つくし学級等の特別支援学級の増加のことなどは書かれていないが、これは市では人数の増加が読めないということか。また、今後10年間の特別支援学級に対する市の政策等によって、中原小学校の学級数も変わって来ると思うので、今後の政策等について情報提供していただきたいと思う。それと、中学校を小学生が使う時に、例えば水道を使うとかそういったことについて、以前同じような建替えをした時に、特に小さい小学校1・2年生がどのように中学生用の校舎に対応していたのかを情報提供していただきたい。

事務局：

特別支援教育の関係については、現在市内に特別支援学級の固定級は3校あるが、3校とも増加傾向にあるということで、この建替準備検討協議会とは別に、現在特別支援教育の検討委員会を立ち上げ、その中で固定級の増設について、今後どう対応していくの

か、その辺りの方向性を出していく予定でいる。今後、特別支援教育の検討委員会の中で結論が出たら、中原小学校の固定級のことや他校にどう固定級を設置していくのか、その辺りのことを説明させていただきたいと思う。次に、中学校を小学生が使うことについて、現在の住吉小学校は、過去に明保中学校として使用されており、実際に中学校の規格で造られており、教室や水飲み場の高さなど、多少大きめに作ってある。それについては、工夫しており、例えば水飲み場だと、高さに対応できるように調整してある。この辺りのことについては、文部科学省や東京都との事前協議の中でも、黒板の高さや体育館におけるバスケットゴールの高さなど、細かい部分で十分配慮・調整するようという指示も受けているので、このような会議の場で様々な課題をご指摘いただき、実際に建てる際に支障が無いように対応していきたいと考えている。

委員：

子どもが住吉小学校に通っているが、やはり下駄箱の高さとかで、上の方は届かないから使わないという現状はある。ぜひ住吉小学校の子どもたちや先生方にどんな点で困っているのか実際に色々なことを聞いていただいて、次回に生かして欲しい。

事務局：

住吉小学校にも確認し、後日報告させていただきたいと思う。

委員：

URの用地取得について、資料5.最終報告書の15ページでは、平成28年度取得予定と書かれているが、同じ資料の5ページでは、早ければ平成24年度から一部売却が始まるということが書かれている。本当にこの面積を確保出来るのか疑問に思う。

事務局：

用地については、UR全体の売却予定面積は、19,000平方メートルに比べると数倍の面積になると思う。ご心配されている様に、いつまでもUR側が待ってくれるかということ、なかなか難しいと思っている。事務局としても、この建替準備検討協議会の中で、URを活用した建替えの方向性を確認していただければ、それを受けて出来るだけ早くUR側と交渉を行っていききたいと考えている。

委員：

皆さんの意見を聞いていると、やはりはっきりとしたことがまず知りたい。それにはURの用地が問題だと思う。そこを早く解決して、購入場所もどの辺りなのかをまずはっきりと早めに話をつけていただかないといけないと思う。それと、建物を建てるには、莫大な金額も掛かるので、市の第2次総合計画の関係もきちんと話をつけていただき、もっとはっきりとしたことが出れば、また皆さんからも良い意見が出て、建替準備検討協議会から次の建替協議会へはっきりと速やかに移行していけると思う。

会長：

ある程度ははっきりとさせるために、まず私たちが今意見を出していきましようということなので、会議の予定が何回か出ているが、1回目、2回目、3回目位で出し切るくらいのお知恵を拝借したいと思う。

委員：

パターンが4つあるうち、私もパターン3が良いと思っているが、そこが決まれば、その後その方向で動くに当たって、こういう課題が出てくるんじゃないか、といった意見も出しやすいと思う。

会長：

今日は、事務局から概要を説明してもらい、たくさん資料も貰ったので、皆さんには、一度しっかりと読み込んで欲しいと思っている。例えば、想定パターンが1から4までであるが、それぞれのメリット・デメリットをご自分でも判断していただき、庁内検討委員会の提案どおりでいこうとこの建替準備検討協議会でなれば、次に移れるので、今日はまず概要・説明を受けてのご質問・ご意見をいただければと思う。

委員：

私は、ひばりが丘4丁目に住んでおり、子どもがひばりが丘中学校に通っているが、やはりひばりが丘4丁目から通うには、現在のひばりが丘中学校までは遠くて大変である。これがURの所に来るのであれば、本当に近くなり、田無第二中学校との配置バランスのこともあって、ひばりが丘4丁目に住んでいる者としては、有難い案だと思っているので、このプランで進めて欲しいと思う。

委員：

この報告書を読んだ時には、西東京市としては、このパターン3のプランでという気持ち強いのではないかと、という印象を持った。ただ、市だけで決めるわけにはいかないし、市民の意見もということでこの建替準備検討協議会があると思うが、ここに集まった人たちの大半はこれだと思っていると思う。反対があったら、既にもう出ていると思う。それをこのプランで良いかということだけに時間を使うのは勿体ないのではないかと。タイムスケジュール的に、スケジュール案で見ると、検討に2年くらい掛けようと思えるが、もうちょっと意見を率直に、反対がある人は反対がある人で早めに言っていただいて、他に良い案があるのであれば発言していただきたいと思う。その後のコミュニティをどうしていくかとか、小学校の中の使い方をどうしていくのかということの方が大事だと思うので、そういう風に進めていただきたいと思う。

委員：

市報に載った時点で、保護者はひばりが丘中学校は、URひばりが丘団地の方に行くと思えていると思う。なので、ここでどのパターンが良いかというように言われても、ほとんどの市報を見た方は、これで行くんだろうという意識であると思う。

委員：

私は、住まいはひばりが丘北で、現在長男が青嵐中学校に通っているが、小学校に入る時は学校選択制度があり、学校を選べますという通知だった。中学校に入る時は、青嵐中学校に決まりました、と書いてあった。もしかしたら田無第二中学校の方が近いけれども、ひばりが丘中学校に通いたいという場合には選べるのか。

事務局：

学校選択制度という制度があり、新小学校1年生・新中学校1年生になる方に対して、小学校の方は保護者の方に郵送、中学校に入る方には小学校を通して、小学校6年生の時に送られるという形になっている。学校が移転したとしても、現状では学校選択制度が無くなるということは考えていないので、入学される時に十分に検討していただき、学校選択制度を使っていたいただくことは可能である。

事務局：

先ほどのご意見の中でも、プランの決定は出来るだけ早くというのが皆さんの大勢だというお話もあったが、今日は大量の資料を短時間でご説明させていただいたので、この場で即決をとというのは難しいと思う。本日の説明を聞いていただいた上で、改めて他の方のご意見等も踏まえて、各人がもう一度お持ち帰りいただいて、資料を改めて見ていただき、それぞれ委員のお考えをいただきたい。「アンケート（意見・質問等）シート」を用意させていただいたので、本日説明させていただいた私どもの提案についてどう思ったか、ここが良いとか、悪いとか、会議の中では、明確に反対とは言い難いという方ももしかしたらいらっしゃるかもしれないので、忌憚のないご意見をアンケートとして取らせていただいて、次回集約した形で資料をお示ししたいと考えている。なお、集約する際には、個人名は隠して、こういう意見が出ているという形で、資料としてお出しして、次回方向性のことをご議論いただきたいと考えている。

委員：

市報に建替えの話が掲載されて、一般の市民の方には、本当にすぐに建替えが行われると理解されているように思う。実際に、中原小学校では土曜日や日曜日になると、建物が壊されると思って、学校の写真を撮りに来る人が増えているので、あと約10年後でないと建て替わらないということを詳しく書いて欲しい。

議題8 次回の開催日程

○会長：

日程調整の結果、第2回の開催日時は、7月10日（火曜日）の午後2時から4時頃までの2時間程度とし、中原小学校を会場として開催するので、出席をお願いしたい。

○事務局：

委員の意見や質問を集約する目的でアンケート調査を実施させていただく。結果については、次回の会議の際に、資料としてお出しするので、6月15日（金曜日）までに回答願いたい。また、次回以降の会議について、概ね会議開催1週間前を目途に会議開催通知と会議資料を発送させていただくので、よろしく願いたい。

議題9 閉会